

AH154-HLT100C 高電位トランスデューサモジュール



HLT100C モジュールは、MP システムに全ての高電位出力トランスデューサのインターフェースです。HLT100C モジュールには 16 個の入力および 2 つの出力チャンネルがございます。HLT100C は UIM100A ユニバーサルインターフェースモジュールの機能に似ていますが、接続の際、トランスデューサに電力も供給します。HLT100C への接続は、標準の 6 ピン RJ11 タイプのコネクタを介して行われています。

ハードウェア設定

MP100 からのデジタル及びアナログケーブルは HLT100C に直接接続します。そして、UIM100C を HLT100C に接続します。HLT100C モジュールは UIM100C モジュールの**左側**に接続します。HLT100C が接続されている間、UIM100C と一緒にその他のアンプモジュールを使用できるようにします。

トランスデューサ（例：TSD109 3 軸加速度計）またはアクティブ電極（例：TSD150A アクティブ電極）を HLT100C の前面に 16 チャンネルのアナログ (RJ11 ジャック) を介して接続します。UIM100C モジュールもし

くはその他の BIOPAC モジュールで他のアナログチャンネルの使用がない限り、最大 16 個のアナログチャンネルを同時に使用することが可能です。4 チャンネル[Ch. 1~4]が UIM100C で使用される場合、12 チャンネル[Ch. 5~16]のみ HLT100C で使用することができます。) 競合が存在する場合、取込むデータは破損されます。

注: アクティブ電極を使用する場合、モジュール背面の GND A 端子を介して UIM100C に単一のアース線を接続する必要がある可能性があります。